

2017年の活動を振り返って

- ◆須磨区会の皆さま、昨年の区会活動にご理解とご協力を賜りまことに有難うございました。特に活動に参加していただいた方々に厚くお礼を申し上げます。
- ◆過去1年間の活動実績を裏面にまとめました。特記事項は次の2点です。

▶《須磨パティオお買いものサポーター》を「地域への貢献」活動に繰り入れた。
この活動は正しくは本部の所掌事業ですが、実質的に当区会が運営しているため、本部の了解を得て当区会の実績に計上することにしました。
▶開催を予定していた「会員のつながり」活動の主要イベント《#5ウォークラリー大会》を中止した。【別項参照】

- ◆年間の全活動回数は473回、活動の参加者は区会在籍者262人のうち52人でした。
- ◆活動実績を分析評価するため、これら3つの数値の関係を次のように表わすことにします。

$$\text{全活動回数} = \text{区会在籍者数} \times A \times B$$

$$A = \text{活動参加者数} / \text{区会在籍者数} \quad (\%)$$

$$B = \text{全活動回数} / \text{活動参加者数} \quad (\text{回})$$

- ◆Aは全在籍者のうち区会活動に参加した人の比率です。幅広く参加者が得られれば比率が高くなります。その意味でAは区会の横の《つながり》を示す物差しになり得ます。つまりAの値は高いほどよいと言えます。

- ◆Bは同じ参加者が年間に活動した回数の平均値です。値が高いほどリピーターへの依存度が高いこととなります。

- ◆2017年のAとBの値を過去の値と比べてみます。

| | 在籍者数 | 参加者数 | 活動回数 | A | B |
|------|------|------|------|--------|------|
| 2017 | 262 | 52 | 473 | 19.8% | 9.1 |
| 2012 | 211 | *50 | | *23.7% | |
| 2013 | 223 | *44 | *303 | *19.7% | *6.9 |
| 2014 | 221 | *46 | *297 | *21.3% | *6.5 |
| 2015 | 224 | *51 | *401 | *22.8% | *7.9 |
| 2016 | 249 | 59 | 511 | 23.7% | 8.3 |

* 地域貢献活動のみ、会員のつながり活動は含まず

- ◆Aは19.8%で近年の最低レベル、一方Bは9.1回と最高レベルになっています。年々Aが低くBが高くなる傾向が見てとれます。これは活動が限られたメンバーに偏りつつあることを示しています。

- ◆次に在籍者を《入会后4年以上》と《入会后3年以下》とに層別し、それぞれのA値とB値がどう変化してきたか見てみます。

| | A | | B | |
|------|------|------|------|------|
| | 4年以上 | 3年まで | 4年以上 | 3年まで |
| 2015 | 20.8 | 47.1 | 10.0 | 6.2 |
| 2016 | 19.6 | 32.9 | 10.9 | 4.8 |
| 2017 | 18.8 | 22.6 | 11.6 | 4.8 |

- ◆入会后4年以上の層はA値、B値とも安定しているのに比べ入会3年以下の層にはA値、B値とも明らかな低下傾向が見られます。この傾向が今後続くと在籍会員が増えても活動がともなわず、区会活動がだんだん低調になるのではと懸念されます。

- ◆在籍会員の潜在能力を活かすには会員数に応じた活動機会を用意するとともに、多くのメンバーとリワイ新しい会員が参加しやすい仕組みを設けることが必要です。

- ◆その上で区会全体のA値を25%、B値を5回にキープするようにしたいものです。それが引いては区会内のつながりを促進することになると考えるからです。

新年度の活動に向けて

- ◆4月にはSC22期生の入会が期待されます。退会者を考慮しても在籍会員数は昨年より10人前後増加し、270人レベルに到達すると考えられます。
- ◆活動の内容が変わらないという前提で全活動回数（地域貢献十会員のつながり）を500回と想定します。
- ◆活動参加者1人の年間活動回数を平均5回とすると参加者は100人つまり昨年の2倍の参加者が必要です。この場合A値すなわち活動参加者数の在籍会員数に対する比率は37%となりますが、できないレベルとは思いません。
- ◆この構想を実現するため次のことを行ないます。

- ▶現在空白のままの10の地域ブロック委員を決め、委員を中心とした情報網を整備する。とりわけ入会3年までの会員との意思疎通を図る。【4月】
- ▶新会員へのオリエンテーションを通じて区会の活動方針への理解と協力を得る。日時と会場は新会員の希望に沿って決め参加者を確保する。【6月】
- ▶活動参加の機会を拡大する新しい活動の場を導入する。そのため区ボランティアセンターとの連携をより緊密にする。【3月】

#5ウォークラリー大会中止に

- ◆秋の恒例イベントであった「ウォークラリー大会in奥須磨公園」ですが、予定の10/22（日）に台風21号接近が確かとなったため前日に中止を決めました。大会中止は初めてのことで。
- ◆7月から7人のスタッフとともに準備を進め、すでに万端調べており、参加者40人も決定していました。
- ◆前日、多井畑の水上桂子さん（音17）のお庭をお借りしてスタッフ最後のミーティングをして解散しました。水上さんは#2大会のスタッフで、それ以来大会のたびに協力していただいております。



後列 梶山 歌(国20・菅の台)、梅田孝一(国21・高倉台)、倉本敏明(国21・西落合)
松本俊夫(福21・友が丘) 前列 細野恵久(福3・白川台)、竹内律子(美21・多井畑南町)、
松原孝子(国21・高倉台)、松本よしゑ(福21・友が丘)

施設の秋のお買いもの外出に付添い

- ◆11/6～10、名谷すみれ苑デイサービス利用者のナナファーム須磨へのお買いものに付添いました。
- ◆同施設には外出行事のたびに欠かさず参加しており、今回もリピーター12人と初参加1人で1日ずつ付添いました。
- ◆藤本明美さん(生17・清水台)に感想をお聞きました。

- ▶お買いものに行く方は9人、皆さん女性で90代の方ばかりとお聞きしビックリ。一緒に参加したのは田路義弘さん(生17・高倉台)と小林重文さん(生20・友が丘)。
- ▶3人とも車椅子の方に付添いました。スリムな小林さんは「この人かなり重そうやわ」とすし不安そう。私だったらもっと苦労したところでした。
- ▶施設の職員が4人同行、きびきびとリードしてくれ、初参加の私にとってよい経験になりました。
- ▶付添いを終え、いずれは我が身、今のうち足腰を鍛えておかなければと自分に言い聞かせて施設を後にしました。そうそう、ナナファーム須磨の喫茶コーナーでのメロンパン、とっても美味しかったですよ〜(´▽`)